

一般社団法人栃木県老人保健施設協会 令和元年度第1回職員研修会

- 1 日 時 令和元年9月13日(金) 9時50分～15時30分
受付9時20分～
- 2 会 場 とちぎ福祉プラザ 多目的ホール他
〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6(地図参照)
受付場所 多目的ホール前
- 3 内 容 「事例発表会」及び「グループ別意見交換会」
事例内容は別紙参照
- 4 日 程
9時20分～9時50分 受付
9時50分～10時00分 開会・あいさつ
10時00分～12時45分 事例発表会
12時45分～13時45分 昼食休憩
13時45分～15時30分 意見交換会
15時30分 閉会・解散

※ 事例発表会の入退場は自由です。

- 5 対象者 本会の会員施設職員(従事年数・職種を問わず)及び老人保健施設に興味のある方
- 6 申込方法

別紙【参加申込書】により事務局あてFAXもしくは電子メールにてお申し込みください。お申込みの締切りは8月13日(火)とさせていただきますので御注意ください。

(※ 会員施設については、別途お送りしました本会からの通知に従いお申し込みください。)

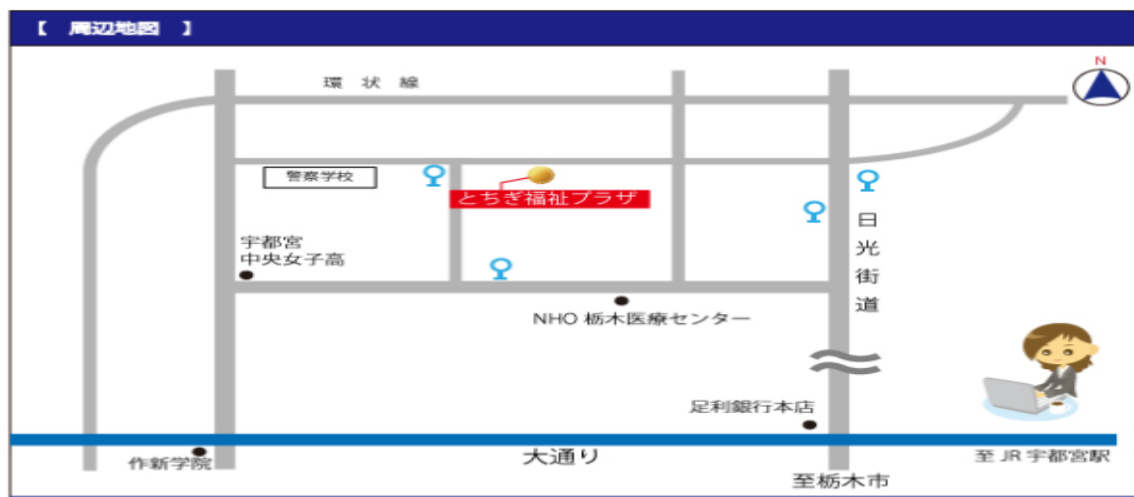
・ **グループ別意見交換会について**

職種に重点を置いたグループを編成しますので、別紙【事前アンケート】を参加申込書と併せて提出してください。(1名につき1枚)

- 7 その他

駐車場は会場の駐車場を使用できますが混雑することが予想されます。できる限り公共交通機関の利用や車両の乗り合わせ等の御協力をお願いいたします。

【会場地図】



【参加申込書】添書不要 FAX 028-621-5298

一般社団法人栃木県老人保健施設協会事務局 今井 行

一般社団法人栃木県老人保健施設協会令和元年度第1回職員研修会参加申込書

令和元年 月 日

所属名

記入者氏名

連絡先電話番号

No.	氏名	昼食(800円)※ どちらかに「○」 を記載ください。	事例報告会へ の 参加の有無	意見交換会 への 参加の有無	備考※
1		有 無	有 無	有 無	
2		有 無	有 無	有 無	
3		有 無	有 無	有 無	
4		有 無	有 無	有 無	
5		有 無	有 無	有 無	
6		有 無	有 無	有 無	
7		有 無	有 無	有 無	
8		有 無	有 無	有 無	
9		有 無	有 無	有 無	
10		有 無	有 無	有 無	

※ 昼食(お茶つき800円)を注文される場合について

昼食を希望の場合、該当箇所に印をつけてください。

昼食代は当日受付でお支払ください。(おつりのないようお願いします。キャンセルの場合は9月6日(金)までに事務局へ御連絡ください。以降の昼食のキャンセルはできませんので、御了承ください。)

※ 事例報告会のみに参加し、途中、入退場される方は、別紙の希望される事例発表の番号を備考欄にご記入ください。

【事前アンケート】

一般社団法人栃木県老人保健施設協会事務局(今井 行き) 添書不要
 FAX:028-621-5298

一般社団法人栃木県老人保健施設協会
 令和元年度 第1回職員研修会
 事前アンケート

※この事前アンケートを基にしてグループ編成をいたします。

施設名				参加者氏名		
職種 (○を付けて下さい)	介護職 支援相談員 理学療法士 その他()	看護職 ケアマネジャー 作業療法士	事務職 管理栄養士 言語聴覚士	栄養士		
担当部署 (○を付けて下さい)	一般棟 認知症専門棟 通所 その他()	老健での 経験年数	年	ヶ月		

<p>【あなたが意見交換したいテーマのジャンル(希望するもの 1つに「○」をつけてください。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケア各種(食事 入浴 排泄 移動) ・送迎 ・レクリエーション ・身体拘束 ・転倒防止 ・医療衛生(褥瘡・感染症など) ・利用者及びその家族との関係(在宅復帰を含む) ・リハビリテーション ・認知症 ・ターミナルケア ・職場環境(記録のとり方 他職種連携 職場内研修 会議の進め方) ・その他

※参加者1名につき、1枚提出。【8月13日(火)締切】

令和元年度第1回職員研修会「事例一覧」

No.	発表時間	発表題名	発表内容の概要	施設名
1	10:00～ 10:15	少人数レクリエーションの新しい取り組み～各分野からのアプローチ～	今まで、全員対象のレクリエーションの他、1回につき4～5名程度で行う少人数レクリエーションを実施してきたが、参加される利用者の片寄りがみられた。今回、利用者のニーズに合ったレクリエーションの他に、多職種がかかわり学習的な要素の高いレクリエーションを導入、リハビリや入浴以外でも目的を持ってデイケアを利用していただけような取り組みを実施した。	宇都宮シルバーホーム
2	10:15～ 10:30	回想法を用いたレクによる会話の少ない入所者への効果	入所者が思いを表現できないと感じ、回想法を用いたレクリエーションで、日常会話が増えるのではないかと考えた。週一回、回想カードを用いたレクリエーションを実施し、意欲・表情・発語の観察を行い評価した。	同仁苑
3	10:30～ 10:45	限りある時間を幸せに生きる～ご利用者のご家族に寄り添うこと～	認知症専門棟にて、限りある時間を自分らしく生きる終末期を迎えることができるための取り組み	和の里
4	10:45～ 11:00	転倒予防に着目した運動プログラムの確立～小集団体操を通じて～	比較的歩行やトイレ動作の介助量が少ない入所者を対象に週2回の小集団体操を実施し、介入前後でのB. I、10m歩行試験、TUGの結果を比較、分析する。	いずみ
5	11:00～ 11:15	排泄支援計画を活用した在宅復帰	平成30年の介護報酬の改定で、老健施設は在宅支援施設であると強く明示され、また排泄支援加算も新設された。現実には在宅に帰れない利用者が多く、排泄の問題が解決できれば在宅復帰できる可能性は高まる。今回排泄支援計画を活用し、在宅復帰できた症例を報告する。	あそへルホス
6	11:25～ 11:40	固定チームケアのその後～自ら動き出すチームケア～	平成28年に発表した固定チームケアを継続した結果、チームを意識した業務改善と職員の意識変化について	にしかた
7	11:40～ 11:55	スピーチロック廃止に向けての取り組み～言葉の拘束ゼロを目指して～	身体拘束の中でもスピーチロック（言葉による対象者の行動制限）に焦点をあて、その廃止に向けた取り組みの報告	安純の里
8	11:55～ 12:10	地域包括ケアにおける老健の役割について	地域包括ケアシステムを進める中で、当老健の現状と今後果たすべき・期待される役割について考える	うつのみや病院 附属
9	12:10～ 12:25	医療と介護の連携～リスク管理の高いご利用者様を受け入れるために～	2018年診療報酬・介護報酬同時改定にて、改めて医療と介護の連携が謳われた。心疾患・気管切開のリスク管理の高いご利用者様を、医療から介護へ受け入れ、切れ目のないサービスを提供できたことを発表する。	お達者倶楽部
10	12:25～ 12:40	選ばれる通所リハビリテーションを目指して～業務改善の取り組み～	介護報酬改定に伴い、利用時間が長くなり、今まで以上に満足していただき、飽きないサービスを提供していくために、「レクリエーションと集団リハビリの充実化」を重点的に見直し、改善を図った。	高根沢シルバーホーム

※ 時間はあくまで予定です。当日の進み具合で前後する可能性がありますので、時間に余裕を持ってお越しください。